

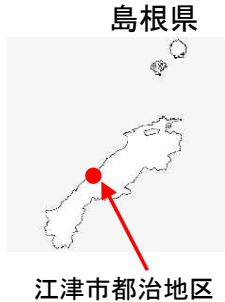
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作が中心の中間農業地域
- 地域の過疎化・高齢化が進み、農地の荒廃化が懸念されることから、担い手の経営安定化を図ることにより、農地集積を推進していく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 実質化された人・農地プランの中心経営体の経営の安定化に向け、新規作物を導入するなど、新たな事業の柱を作ることが必要。
- 助成対象者は地区内の中心的な水稻作の経営体であるが、新たな事業の柱を作り、経営の安定化を図るため、高収益作物(イチゴ)の導入に向けた農業用ハウスの整備及び経営面積の拡大に向けた稲作用機械の導入を支援。



助成対象者「A法人」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成8年 経営改善計画認定
- 平成31年 法人化(株式会社)
- 令和3年 施設野菜(イチゴ)栽培開始

《事業活用の背景》

- 米価の下落によって経営が不安定になる可能性があり、地域内で新たな高収益作物の栽培に取り組むことで、経営基盤を強化するとともに、農地を集積し水稻の生産面積の拡大を図るため施設等を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

- 売上高 17百万円
- 経営面積 10.1ha
(水稻10.1ha)
- 雇用 0名

《事業による整備内容》

- 農業用ハウス4連棟 1式
事業費 44,533千円
(国費 20,242千円)
- 色彩選別機 1台
事業費 3,146千円
(国費 1,430千円)
- コンバイン 1台
事業費 9,053千円
(国費 4,115千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 売上高 22百万円 (129%)
- 経営面積 11.3ha (112%)
(水稻 11.1ha 施設園芸 0.2ha)
- 雇用 2名

事業の
効果

《対象者》 売上及び経営面積が拡大し、効率的な農地集積が進展するとともに2名を新規雇用。

《地区》 高齢化が進む地区の中心経営体として、地域特産物の創出と農地の集積、耕作放棄地の発生防止、雇用機会の確保につながった。